

31H 林 茉穂 32H 杉山 香遥 32H 今村 心光
 34H 柴野 桜輔 34H 中田 泰聖 36H 松本 ちなみ

■課題

能登地域の空き家数の増加、若者の県外への流出

■解決策

空き家をリフォームし、子育て世代を主なターゲットに住宅として売り出す

■現状(課題の背景)

空き家率の増加

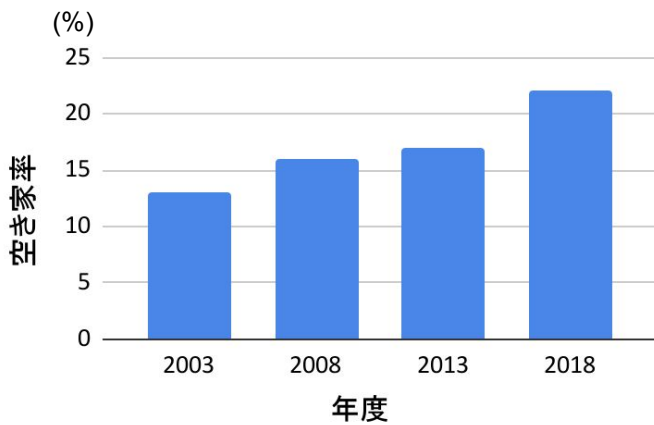


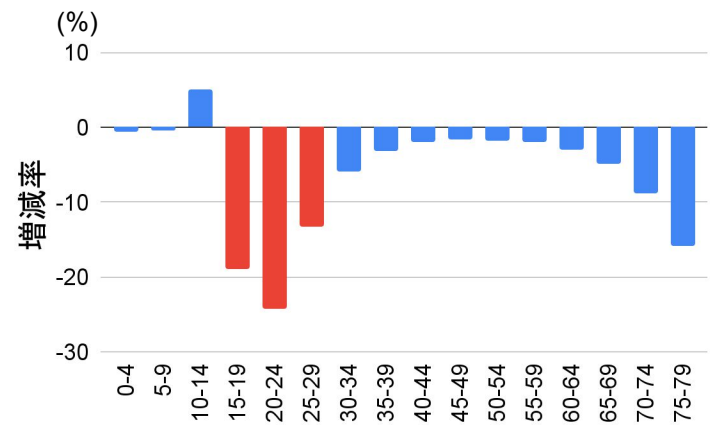
図1 能登地域の空き家率

能登地域の空き家率は**増加**傾向にある(図1)
 高齢化も相まって、空き家の管理は困難



火災、水道管の破裂、倒壊などの危険性**大**

若者の流出



2015年時点での年齢

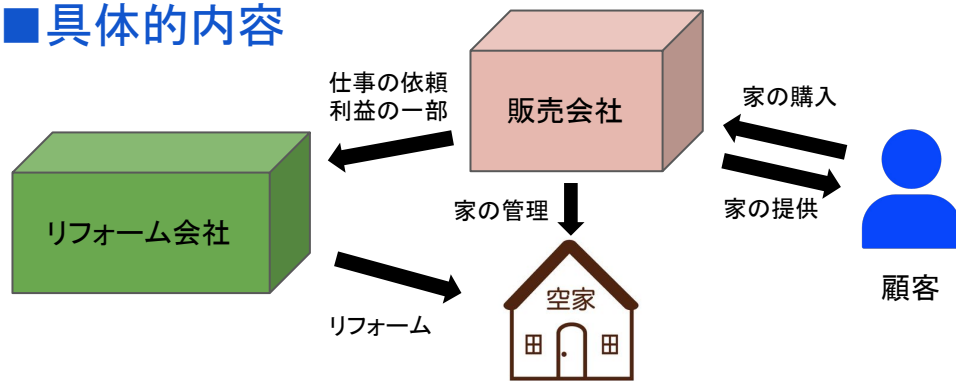
図2 能登地域の人口の5年間の増減率

若者(特に15~29歳)が多く**流出**している(図2)



若者の主な流出理由は、進学・就職

■具体的内容



- ➡リフォーム会社に空き家のリフォームを依頼
 (広いリビング・オープンキッチン・和室・家事がしやすい動線)
- ➡子育て世代を中心にリフォームした空き家を販売
- ➡利益の一部をリフォーム会社に納入

(成功例)カチタス

中古住宅買い取り再販事業に関する販売戸数
 ランキングにおいて9年連続1位を獲得
 営業利益74.9億円(2018年)



https://primes.jp/main/html/searchrhp/company_id/79457

■効果

・空き家数の減少

➡ **空き家問題の改善**
地域の安全性の確保

・新居に比べ安価で購入が可能

・地域のイメージアップ

・雇用の増加

(リフォームの業者の募集が増える)

➡就職や進学で県外に流出した若者が

子育てをする際に

地元に戻って来やすくなる

➡ **結果的な人口の流出の抑制**

■参考文献

- 1) 空き家のリノベーションでシェア <https://strainer.jp/notes/4815> (参照2023-3-17)
- 2) E-stat 統計で見る日本 <https://www.e-stat.go.jp/regional-statistics/ssdsview/municipality> (参照2023-3-17)